



新型コロナウイルス感染症

感染拡大防止のための活動報告No.6

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の勢いは暑い季節になっても収まりません。婦人会では、COVID-19 と上手に付き合うためにさまざまな活動を続けています。

そこで、新しい生活様式のために取り組む婦人会活動を紹介いたします。

< 熊本県健康を守る婦人の会（高戸婦人会：上天草市龍ヶ岳町） >

高戸婦人会では、アベノマスクが小さめだったので、自分のマスクを手作りしている会員に呼びかけ、28個（計56枚）を集めて小学校に寄付しました。

また、一人暮らしの75歳以上高齢者にお赤飯を配りました。3密を避け、準備（写真1）とお赤飯作り（写真2）を2日に分けました。7月4日（土）に、80人の高齢者に会員10人で手分けしてお配りしました（写真3、4）。

今までのように会員が集まることができないので、人数や会場の使い方を試行錯誤しています。ただ、お赤飯を受け取ってくださった方の喜びや驚きなどを目の当たりにし、何かしたいという気持ちが次の活動に繋がると確信しました。



写真1 初日は、5人がお米とき、小豆の仕込みを行いました（食中毒対策にも注意）



写真2 2日目、7時から8人が炊飯・パック詰めをしました。10時には配れるようにと、時間と闘いました！



写真3 完成した 80 個のお赤飯を 10 人で手分けして配布しました



写真4 メッセージ付きのお赤飯は大変喜ばれました